

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部 平成26年度最終号

平成26年度最後の自立活動だよりは、今年度本校で開催された自立活動に関する研修会について書きたいと思います。

車いすの押し方

開催日：4月7日

対象者：本校に今年度初めて勤務した先生方

内容：二人一組になり、車いすに乗る人と押す人に分かれ、押される体験と押す体験をしました。段差やガタガタ道、スロープ等の正しい押し方の学習だけでなく、乗っている子どもたちの気持ちを少しでも理解するために、車いすに乗る人は目を瞑り、押す人は黙って少し乱暴に段差や曲がり角等を押すという設定をして行いました。研修後、「急に曲がったり、後ろに倒されたりするととても怖かった。子どもたちの座位保持を押す時は、声をかけてゆっくり押そうと思った。」「こんなに怖いと思わなかった。とにかく丁寧に押そうと思った。」といった感想を持たれた先生方が多かったです。



テーマ設定研修

開催日：通年

対象者：自立活動の研修を選択した先生方

内容：自分が担任する子どもたちの自立活動における主な課題を出し合い、その課題が含まれる自立活動の区分毎に、グループ編成を行って、年間通して協議を行いました。グループは小学部・中学部・高等部・愛徳分教室という枠を超えたグループを作りました。そして年度末にグループ毎に、1年間話し合ったことを中心に発表を行いました。研修後、「同じ課題を抱えた子どもの担任同士だったので、子どもの話が沢山できてよかった」「学部を超えて話し合うことが普段あまりないので、自分が担任している子どもの昔の姿が聞けたり、将来の姿が想像できたりしたので有意義だった。」といった意見が多数ありました。

摂食指導研修

開催日：7月29日

対象者：希望者

内容：講師先生として愛徳医療福祉センターの藤岡STと津田OTをお招きして、前半は、摂食指導の基礎知識についての講義と体験、後半は3名の児童生徒(各学部1)の給食場面の動画を見ながら、口腔機能や食物形態については藤岡STから、姿勢やスプーン、お皿等の食具、食べさせ方については津田OTから助言をいただきました。研修後、先生方から「摂食のメカニズム・手の操作性の話、分かりやすかったです。実際に自助箸を使用したり、とろみをつけたお茶を様々な姿勢で飲む経験もできて良かったです。」「子どもへの摂食時の配慮等改めて考える機会になりました。」といった感想をいただきました。



抽出指導研修

| 開催日 | セッション1 (永金) | セッション2 (奥野) | セッション3 (鈴木) |
|-------|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| 5月30日 | 姿勢について | 感覚統合について | マカトン法について |
| 7月4日 | 専門用語について | 遊具について | PECSについて |
| 2月10日 | 実践報告 「歩行の改善に向けた取組」 | 実践報告 「感覚を活用する取組」 | 実践報告 「発音の改善に向けた取組」 |

対象者：希望者

内容：姿勢について：姿勢についての基礎的な話（良い姿勢とは？・悪い姿勢とは？姿勢を保持するために必要な力とは？等）



専門用語について：教育現場でよく使われている医学的な専門用語についての解説

実践報告：歩行の改善に向けた1年間の抽出指導での取組の報告

感覚統合について：感覚統合についての基礎的な話や感覚(特に触覚防衛)について

遊具について：本校にある吊り遊具の説明と子どものタイプやねらいに応じた使い方について



実践報告：感覚を活用した1年間の抽出指導の取組についての報告

マカトン法について：マカトン法の基礎とその指導の仕方について
(身近なマカトンサインについての学習)

PECSについて：PECSについての基礎とその実践例について

実践報告：発音の改善に向けた1年間の抽出指導の取組の報告



より良い授業のために来年度も様々な研修を企画したいと考えています。